

教育目標 ふるさとを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成「笑顔いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい」



東小だより

霜月号

「学校行事を通して」

朝夕に肌寒さを感じる季節となりました。気づけば、師走の足音が聞こえます。今月は行事がたくさんありました。その中で、豊かな心や感性、高い仲間意識等の内面を高めた東つ子でした。学校行事という体験が心に響き、豊かな体験となつて、その後の自分の心持ちや言動を変容させていきます。それは、日頃意識しなかつたことに感動したり、心を痛めたり、楽しく思えたりするなどの変化としてあらわれてきます。物事が道徳的に価値づけされていった証拠です。このように、教室で学べないことが学校行事にはあります。コロナ禍ではありますが、私たちは、今、子供たちの成長に不可欠である教育活動を厳選し、最大限の対策と支援によつて実現していきたいと考えます。難しい現状ではございますが、保護者、地域の皆様方の深いご理解とご協力を心からお願いいたします。来月も12月11日 金曜日に校内マラソン大会を実施予定です。併せて授業参観も計画しております。感染症対策をした上での実施となり、ご来校いただく方にはご不便をおかけすることと思いますが、先ほど述べました豊かな体験として、子供たちの心に響き、心を耕す学校行事となることを願います。

皆様、ご協力をお願いいたします。

「つなしの会を開催しました」

11月20日、牛深地区婦人会 牛深地域更生保護女性会の方々のご厚意により、「つなしの会」を開催しました。数え方で「つ」がつかない10歳。ハーフ成人式をお祝いする意味が込められているそうです。10歳を迎える4年生15人全員が手作りの色紙を頂きました。そのお礼に、子供たちは、「将来の夢」について誓いの言葉を発表しました。松下和正くんは、「将来は薬剤師になりたい。病にかかた人を助けるために勉強をがんばりたい。これから高学年になるからリーダーになります。10歳になれてお父さん、お母さんにありがとうと言いたいです。」と話してくれました。つなしの会を通して自分の成長を実感するとともに、将来が明るくなったように感じました。そして何よりも、自分を見守り、支えてくださっている方々が、地域にいらつしやることに、安心感と喜びを感じ取った時間となったようです。お祝いいただいた団体の皆様、ご来校いただいた方々に心よりお礼申し上げます。



「あしがき」

相田みつをのご子息であり、現在、美術館の館長である相田一人さんの対談記事を読んだことがありました。その中で、「うつくしいものを美しいと思える あなたのところがうつくしい」という相田みつをの作品の意味について語っていらつしやいました。興味深く感じましたので掲載します。

美しい風景でも音楽でも絵でも映画でも何でもいいのだが、きれいなもの美しいものを見たときに「ああ、きれいだな」と素直に感動できる心。これが美しいものを美しいと思える心のことである。美しいものに素直に感動できる心というのは、反対側から言うと、悪いこと、いけないこと間違っていること、そういうものを見たり聞いたりしたときに、これはおかしいと分かること。では、どうしたら子供の心の中に美しいものに感動する心が芽生えるのか。まず、大人が感動しないと駄目だ。大人が感動すると、その感動は必ず子供に伝わっていく。だから教師が感動すると、その感動は子供に伝わって、それが成長するにしたがつて美しいものを美しいと思える心が育っていく。」「学校の先生方に期待するもの」※一部改訂

感動する心を大切に、感動のある教育活動の展開に全力をつくしていきたいと思ひます。

子供たちの理解と支援のために②

平成28年4月1日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法の施行により、学校においては、「合理的配慮の提供」が義務付けられました。「合理的配慮」とは、障がいのある子供が、他の子供と平等に学ぶために必要な変更や調整などを、一人一人の状況に応じて、財政面や体制面で負担がかかりすぎない範囲で行うことです。この「合理的配慮」が提供される手順は右図のようになります。大切にことは、子供が十分な教育を受け、持てる力を伸ばすことです。
(引用資料:熊本県教育委員会)

①意思の表明
学校に「合理的配慮を提供してほしい」ということを相談します。意思の表明がない場合は、学校から必要な配慮について働きかけることもあります。

②調整 **建設的な「対話」が大切**
希望した合理的配慮の内容が、すべて提供されるとは限りません。本人・保護者と学校で必要なことやできることについて建設的に話し合います。

③合理的配慮の提供
個別の教育支援計画に記して職員間でも共通理解したうえで合理的配慮を提供します。

④評価
提供した合理的配慮により、子供が十分な教育が受けられているか評価します。

⑤見直し
子供の成長に合わせて、よりよい合理的配慮に改善していきます。

東っ子のかがやき 学習発表会(11/15)

各教科の学びを再構成し、成長と感謝の思いを織り込まれた東っ子の姿でした。短い発表会でしたが感動の時間が終始流れていました。



1年生「できるようになったこと」



4年生「ひまわり4年生スペシャル番組」



2年生「スイミー～みんなで力を合わせて～」



5年生「3忍者と環境の巻」



3年生「かつぱの証文 東っ子バージョン」



6年生「私たちの6年間
時を戻そう みんなに感謝」

修学旅行(11/4～11/5)

6年生が、長崎県・佐賀県を訪れ、平和と歴史の学び、そして、仲間との強く深い絆を深めました。実施できことへの感謝の心が終始あらわれていた旅となりました。



東中生による読み聞かせ(11/17)

生徒さんたちが、読み聞かせを行ってくれました。さすが先輩！とてもいい雰囲気でした。次回が楽しみです。



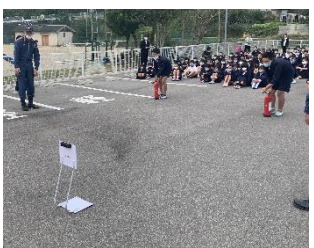
文化展でのかがやき

文化の秋に、各文化展において、多くの東っ子の作品が高い評価をうけました。

- 【科学・発明展】
 - ◆特選:榎田舞歌さん(4年)
 - 【天草南子どもアート展描画部門】
 - ◆芸術文化協会賞:北野希海さん(2年) 鶴長愛碧さん(5年)
 - 【天草南子どもアート展硬筆・毛筆部門】
 - ◆芸術文化協会賞:寺田爽馬くん(5年)
 - ◆地区文化協会賞:宮内風香さん(1年) 濱崎陽人くん(3年) 滝下いろはさん(3年) 大山結愛さん(4年) 磯口光真くん(5年) 篠山翔平くん(6年)
 - 【熊日学童スケッチ展】
 - ◆地賞:小田悠真くん(4年)
- 上記以外にも、特選、入選等の作品が多数ありました。

火災避難訓練(11/24)

命を守る取組として、火災避難訓練を行いました。今回は、地震後の火災発生を想定し、二つの災害避難に取り組みました。全員が避難するまでの時間は2分58秒という迅速さでした。さすが東っ子です。



地震だ！

避難完了！

消火！